

Mistake!

059. 〈Do you know ...?〉の思い違い

織田信長を知ってる?

✕ **Do you know Oda Nobunaga?**

ある人と知り合いかどうかをたずねる場合、ふつう次のように切りだします。

- ☑ **A:** Do you know Mr. Suzuki from Toyota?
(トヨタの鈴木さんとはお知り合いですか?)
- B:** Yes, I have known him for ten years.
(ええ、10年来の知り合いです)

ところが、ある著名人を話題にだして、「～を知っていますか?」という場合も、多くの学習者は“Do you know ...?”で始めてしまいます。

- ☑ **A:** Do you know Oda Nobunaga?
(織田信長と知り合い?)
- B:** Of course not. He's been dead for more than 400 years.
(いいや。だって彼は400年以上も前に死んでいるんだから)

ここまで見たように、**Do you know ...?** は「……と知り合いですか?」とか「……に会って話したことがありますか?」という意味にとられるので、有名人の場合は次のようにたずねるのがふつうです。

- Do you *know of* [about] Oda Nobunaga?
(織田信長を知ってる?)
- ▶ know of A 「Aの存在について知っている」
know about A 「Aについて(わりとよく)知っている」

歴史上の人物を知っているかどうかをたずねるときの決まり文句のひとつです。次もよく使うフレーズです。

- Have you (ever) *heard of* Oda Nobunaga?
(織田信長を知ってる?)

直訳すれば、「(これまでに) 織田信長という名を耳にしたことがありますか?」になります。

あるいはまた、次のようにたずねることもあります。

- Do you know *who* Oda Nobunaga is?
(織田信長を知ってる?)

このように、「織田信長という人物のことを知っていますか?」とたずねてもいいでしょう。

これら3つが「(ある著名人)を知っていますか?」という日本語にもっとも近い英語表現になります。

織田信長を知ってる?

- **Do you know of** [about] Oda Nobunaga?
○ **Have you (ever) heard of** Oda Nobunaga?
○ **Do you know who** Oda Nobunaga is?

Mistake!

060. 〈know〉と〈well〉の意外な相性

彼女は日本のことをよく知っている。

✗ She knows about Japan well.

動詞“know”と副詞の関係について考えてみましょう。

“know”の目的語に注目して、以下に掲げた2つの英文をごらんください。

○ I know Yoko well.

(ヨーコのことならよく知っている)

✗ I know Yoko's background well.

(ヨーコの生い立ちならよく知っている)

〈know+人+well〉とはできるのですが、〈know+事柄+well〉とはできないのです。残念ながら、このことを知っている学習者はごくわずかです。

〈know + 人 + well〉のパターン

- know + 人 ⇨ 「(人)を知っている / (人)とは知り合いだ」
- know + 人 + well ⇨ 「(人)をよく知っている」

では、次の2つの英文をごらんください。

○ She knows *a lot* about Japan.

(彼女は日本のことをよく知っている)

✗ She knows about Japan well.

ある〈事柄〉について「よく知っている」のなら、〈know a lot about + 事柄〉という言いまわしを使います。

〈know about + 事柄〉のパターン

- know about + 事柄 ⇨ 「(事柄)を知っている」
- know a lot about + 事柄 ⇨ 「(事柄)をよく知っている」

肯定の平叙文では **a lot** (たくさん) を用いるのです。

「あまりよく知らない」のなら、以下のように言いあらわします。

☑ She *doesn't* know *much* about Japan.

(彼女は日本のことをあまりよく知らない)

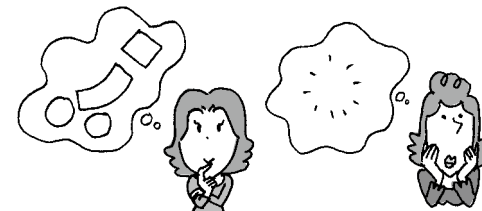
このように、**not ~ much** (あまり~ない) とするのです。

「まったく知らない」のであれば、**nothing / not ~ anything** (何も~ない) を用います。

☑ She knows *nothing* about Japan.

(彼女は日本についてはまったく何も知らない)

= She *doesn't* know *anything* about Japan.



彼女は日本のことをよく知っている。

○ She knows *a lot* about Japan.